



“心豊かに
笑顔あふれる”

響

所報〈ひびき〉

No.
112

青森県
総合社会教育センター

平成30年 9月27日



家庭教育応援隊養成講座

～子育てを応援する各地域の家庭教育支援者やリーダーを育成し、
地域全体で家庭教育の支援体制を整備する事業～

今年度は、**東青地区(会場:青森県総合社会教育センター)**・

三八地区(会場:八戸市総合福祉会館) の2地区で開催中です。



○講座内容

第1回	6月	【開講式】・【講義】「社会情勢と家庭教育支援者の役割・心構え」
第2回	7月	【講義】「傾聴と親が育つ支援のあり方」・【演習】「あおり親楽プログラムⅠ」
第3回	8月	【講義】「気になる子どもの理解と対応」・【演習】「あおり親楽プログラムⅡ」
第4回	9月	【講義・演習】「子育てサロンの企画・運営について」
第5回	10月	【実践】「子育てサロンの運営について」・【講義】「心の通うコミュニケーション」
第6回	11月	【実践】「子育てサロンの運営について」・【講義】「読み聞かせにおける工夫点」
第7回	12月	【実践】「子育てサロンの運営について」・【閉講式】

○研修の様子と受講者の感想

受講者の中には、自分と同じ視点の方もいれば、違う視点の方もいて、たくさんの気づきが生まれました。「子育てに正解はない」を実感することができ、たくさんの打開策を見つけることができました。自分で困っていることは、みんなも困っていたことであって、これからは家庭の中でうまく乗り越えてやっていけそうです。



グループの方から「我が子の子育ての時に、このようなプログラムが用意されていればな…」という感想を聞きました。今まさに子育て真っ最中である私と我が子はとても幸運です。この幸運をぜひ自分の地域の御家族にお届けできたらと強く思います。

パパ・ママ応援！家庭教育支援動画配信中

子育て支援情報や青森の子育て事情を当センターホームページにて配信中です。動画68本、TV番組8本が御覧になれます。

また、12月には子育て支援に関するTV番組も放映します。ぜひ、今後の子育ての参考や青森県の子育て事情を知る機会になさってください。

あおり子育てネット

検索



TV番組放送予定日 (ATV)

①12月 1日(土) 15:42～

「悩んでいるのは一人じゃないよ～発達障がい～」

②12月22日(土) 15:42～

「家族の笑顔を増やそう」

青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

北海道・北東北4道県生涯学習センター等研修交流会

7月26日(木)と27日(金)の両日にわたり、当センターにおいて、北海道、秋田県、岩手県そして青森県の生涯学習センター等の研修・情報交換を目的とした「北海道・北東北4道県生涯学習センター等研修交流会」を初めて開催しました。

1 日目は、各センターからの施設・事業紹介と協議・情報交換を行いました。発表された他道県の取組を御紹介します。

【北海道立生涯学習推進センター】

・調査研究

平成29～30年度「地域づくりの担い手育成に関する社会教育行政の在り方に関する調査研究」

・「指導者の養成・研修」の年間サイクル

6月の「北海道社会教育セミナー」で研修の方向性の確認や理論研究を行い、管内研修・ブロック研修で実践した上で、2月の「地域生涯学習活動実践交流セミナー」で事例発表、研究協議を行う。



・道民カレッジ

地域活動インターネット講座などではインターネットを活用し、地域で活躍する際に必要な知識や技能に関する内容を配信している。

【秋田県生涯学習センター】

・調査研究

平成28～30年度「連携協働による地域活性化事例に関する調査研究」では、今年度、特に企業や民間団体等と行政との連



携協働について事例研究を行っている。

・行動人(こうどうびと)

「学んだことを生かして行動できる人」という秋田県の生涯学習の目指す人間像を表す。行動人講座、行動人Webサイト、行動人交流集会を行っている。

【岩手県立生涯学習推進センター】

・調査研究

2か年で「学校と地域の連携・協働のあり方に関する実践的研究」等を研究している。

・岩手県生涯学習推進研究発表会

センター及び市町村、生涯学習関係団体等の研究や実践の発表、協議を行う。

※「センターは、市町村職員やリーダーとなる人たちを対象とする研修や研究の機関である」とし、直接、県民を対象とする学習の機会は設けていない。



2 日目は、当センターと、隣接する県立図書館とを見学しました。

その後、参加者全員で、より発展的な連携を目指し、来年度の研修交流会の持ち方について意見交換を行いました。



最後に、できることから連携を進めることと、来年度の秋田県での再会を約束し、充実した2日間の研修交流会の幕を閉じました。



「社会に関かれた教育課程」実現に向けて

～青森県総合学校教育センターとの連携講座実施～

青森県総合学校教育センターと連携し、「社会に関かれた教育課程」の実現に向けて研修会を行いました。「教頭研修講座(5/10)」、「今ある教育活動を活かすキャリア教育研修講座(6/12)」、「県立学校中堅教諭等資質向上研修(7/2)」の教職員対象の講座の1コマに組み入れていただき、新学習指導要領の理念について理解を深めるための講義と演習を行いました。



受講した教職員からは「教育課程編成にあたって、とても役立つ内容だった。」「社会に関かれるとは、ということなのかイメージが広がった。」などの感想をいただきました。

新学習指導要領の完全実施に向け、学校と地域が連携・協働し、目的を共有することの本質を理解していただくよう、今後も研修の機会を提供してまいります。

※11/20(火)～21(水)開催 参加者募集！！
教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座

いよいよ
スタート

第30期パワフルAOMORI！創造塾 魅力あふれる青森県、つくります！

県内の地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引するパワフルな人財を育成する事業、その名も「パワフルAOMORI！創造塾」。今期は節目となる第30期。県内各地から20名の若者が「あおもりを熱くしよう」という想いのもとに集まり、今年度もエネルギッシュにスタートしました。

本事業は7月の第1回講座を皮切りに、およそ半年にわたる3回の講座（1泊2日の合宿型）、実践活動、さらには卒塾後の活動プランの発表会により構成されています。

第1回講座では、ものがたり法人 FireWorks 脚本家 栗山 宗大 氏の熱血指導の下、タブレットを用いてグループで短編映画を制作しました。台本づくり、撮影、編集作業と活動を進めるうちに、塾生同士の距離はグングン縮まりました。

映画づくりの三原則「話し合う、力を合わせる、あきらめない」は地域活動にも直結し、塾生の心に深く刻まれました。



映像制作ワークショップの一コマ（第1回講座）



地域課題をアツク議論する塾生たち（第2回講座）

8月に行われた第2回講座は、恒例となった三村知事の特別講演でスタートしました。「未来は変えることができる」、「県民一丸となって変革の波を起こす」、「課題をチャンスと捉える」。知事の明るく情熱的な講演は、塾生を大いに勇気づけました。

続いて、イノベーションを起こし続ける起業家、シナプテック株式会社代表取締役 戸田 達昭氏による講義及びワークショップ。既存の「コト」を打ち砕く熱意、一步踏み出す勇気、そしてリスクを恐れずチャレンジし続ける「起業家精神」。これらの内容から、塾生たちは地域づくりに対する「オモイ」に自ら火をつけ、「カタチ」にしていくことを誓いました。

今後は、9月の生涯学習フェアをはじめとする様々な場面での実践活動、10月の第3回講座を経て、12月の第4回講座では個々のアクションプランのプレゼンテーションを実施します。

楽しみながら地域づくり活動を行っていく塾生たちのこれからの姿、どうぞ御期待ください。



VOL. 4

八戸市

魅力ある講座の実践紹介！

「青年学級」

今回は、進展する社会に対応できる人間形成等をねらいとして展開している事業「青年学級」について、根城公民館館長の新井山 雅行さんから話を伺いました。この事業は、前身から数えて42年目を迎える大変息の長いものであり、その運営の工夫点等を聞きました。



今年度で42年目！

「青年学級」の開講は、昭和52年にまで遡ります。当時は「フェミニティースクール」という名称で「可憐で自主性のある賢い女性」、「一般教養の向上を図ること」を趣旨として開講しました。

平成15年からは、男女共同参画社会に対応する必要性から、「進展する社会に対応できる人間形成」、「实际生活に必要な技能の習得」、「一般教養の向上」を図ることをねらいとし、40歳未満の男女を対象としながら継続してきました。今年度で42年目を数え、受講生は延べ1,800名を超える息の長い講座となっています。

講座内容としては、健康、伝統芸能、食、救急救命、音楽など、多岐に渡っています。ユニークなところでは**ドローンの操作方法等を学ぶ講座**なども行いました。

また、昨年度までは、座学的な講座から始めることが多かったのですが、今年度は、受講生のひとりがファシリテーターを務める**アイスブレイク**を取り入れました。これにより、受講生同士の心がぐっと近づいたと感じました。

平成25年度からは、受講生が話し合っ講座の内容を決める自主講座を設け、企画、講師との交渉等、受講生自らが経験を積みながら運営をしています。予定の活動時間以外でも自分たちで時間を作り、企画の打ち合わせをすることもあります。

「青年学級」の成果として挙げられるのは、講座を通して、仲間づくりが進んでいることです。

また、「青年学級」の講座のいくつかを公開講座として、地域の方々にも参加を呼びかけることにより、青年学級受講生と地域の方々との交流が見られるようになってきました。さらには、公民館文化祭の会場準備や模擬店の手伝いなどを通じて、世代間交流も行われるようになってきています。

地域課題解決の方策としても

根城公民館は、八戸市中心部に隣接した第2種住居地域に位置しています。市立の小中学校の他、市立図書館の分室、市立博物館等の文化施設もあり、生活に便利な地域です。近年は人口減少傾向にありますが、世帯数は増加しています。結果として、地域の高齢化、世帯人数の減少、一人暮らし世帯の増加などの課題もあります。

青年学級自体のねらいを達成するとともに、ここで育まれた実践力が青年層の地域活動貢献へとつながるものと期待しています。それが、ひいては上記の地域課題解決の方策であるとも考えています。

この他にも「公民館活動教室」、「女性学級」、「高齢者教室」等、地域住民のニーズに応じた講座を開講しています。今後は、小学生親子対象の家庭教育講座や、地元高校や高専と連携した事業等学校と連携することで、地域の教育力の向上と地域づくりに貢献できるものと考えています。

開講時、アイスブレイクの様子から



ドローン操作講座の一コマ



【編集後記】受講生が早く緊張をほぐせるようにとアイスブレイクに力を入れたり、興味をもって受講できるようにと話題のものを取り扱ったりといった工夫や思いやりが、長く続く事業のコツであると感じました。(A)



《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。